

西川用水

西川用水は、福井県の越前市と鯖江市との市境を流れる農業用水です。

西大井(現在の鯖江市西大井町)に生まれた西野利兵衛は、水不足に悩む西大井、川去の村のために、水量の豊富な日野川の水を吉野瀬川に流し込めまいかと考え、現在の鯖江市下司町から越前市家久町にまたがる場所に、両河川結ぶ水路を造る計画を立てました。

そこで、西野利兵衛は日野川の水利権を得るため、将軍徳川秀忠に直訴し、慶弔10年(1605年)に許可を得ました。

それから約20年の歳月を費やして、西川用水は完成しましたが、その工事に大勢の人が携わったため、「千人掘水路」とも言われています。

西川用水の完成により、水不足に悩む西大井、川去の村の水争いは解消し、今も両集落の「命の水」として農地を潤しています。

平成17年(2005年)には、西野利兵衛の功績をたたえ、400年祭が開催されました。

